記者発表

令和元年　１０月１５日

現場を実体験！高校生が軟弱地盤を学ぶ
～天間林道路軟弱地盤の対策に本格着手～

国土交通省青森河川国道事務所では今年度より天間林道路の軟弱地盤対策工事に本格着手しております。
この機会に、普段見ることの出来ない改良機械のほか軟弱地盤の特性等を広く知って頂くため、地域の将来を担う高校生を対象に体験型の現場見学会を開催いたします。
体験型見学会では、実際に現場の土を改良する体験をして頂くなどより理解しやすい内容で、現場をご紹介する予定です。

＜日　時＞
令和元年１０月１７日（木）　９：３０～１０：４０
三本木農業高等学校　　約３５名（現場１）
令和元年１０月３０日（水）　１３：３０～１４：３０
八戸工業高等学校　　約４０名（現場２）

＜場　所＞　現場１：青森県上北郡七戸町字寺沢前
現場２：青森県上北郡七戸町字皀　　※詳細は別紙の通り

＜概要＞　天間林道路の軟弱地盤対策工の説明、模擬実験等の体験活動

◇報道機関の皆様へ：天候状況により、中止となる場合がございます。

〈発表記者会：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社〉

＜問い合わせ先＞
【事業者】
国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
建設監督官　田高（たたか）　健治（けんじ）　TEL 0176-23-7138（内線6530）
工務第二課長　藤岡（ふじおか）　正勝（まさかつ）　TEL 017-734-4555（内線411）

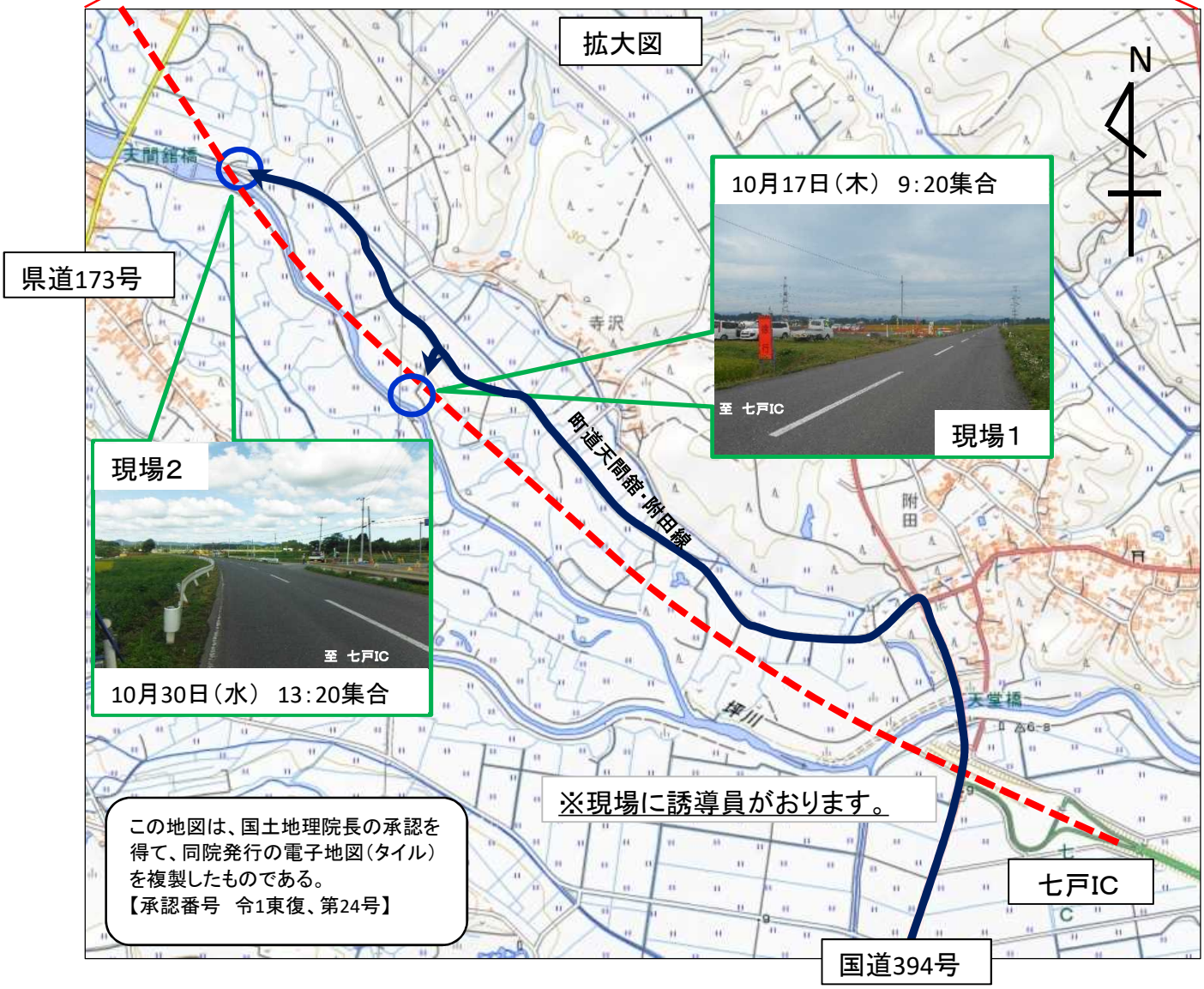
【施工者】
（現場１）株式会社　柏崎組
監理技術者　北村（きたむら）　勝博（かつひろ）　TEL 0178-50-6511（代表）
（現場２）匠経常建設共同企業体　代表　株式会社　桝沢興業
現場代理人　石川（いしかわ）　和彦（かずひこ）　TEL 0176-23-0307（代表）

（別紙）

天間林道路　現場見学 案内図

【位置図】





軟弱地盤対策に関する体験型見学会を開催

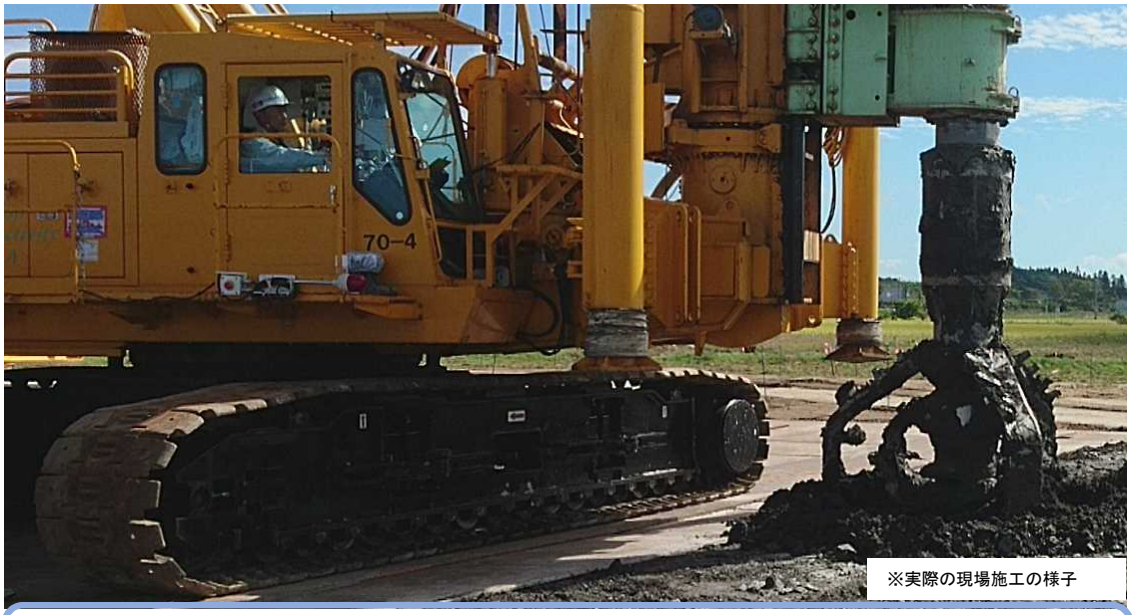
Point①：体験内容（一部）



※9/24青森工業高校の体験の様子

「実際の土を疑似改良」、「見て、触れる施工機械」

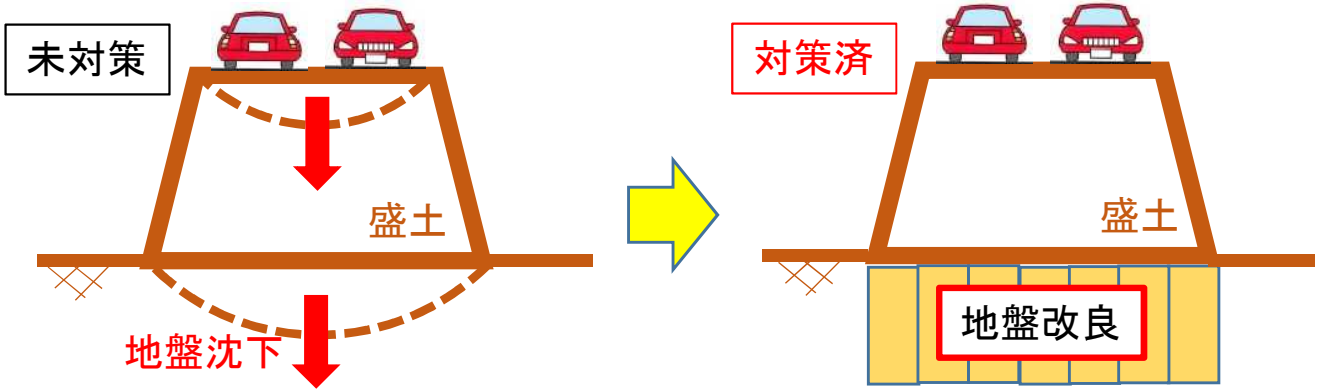
Point③：地中を効率的に改良し、強度を増加！



※実際の現場施工の様子

経済性・施工速度に優れた施工方法で対策

Point②：軟弱地盤



未対策では地盤沈下が発生、事業区間の広範囲が軟弱地盤



※9/24青森工業高校の体験の様子

未改良と改良部分の違いを体感

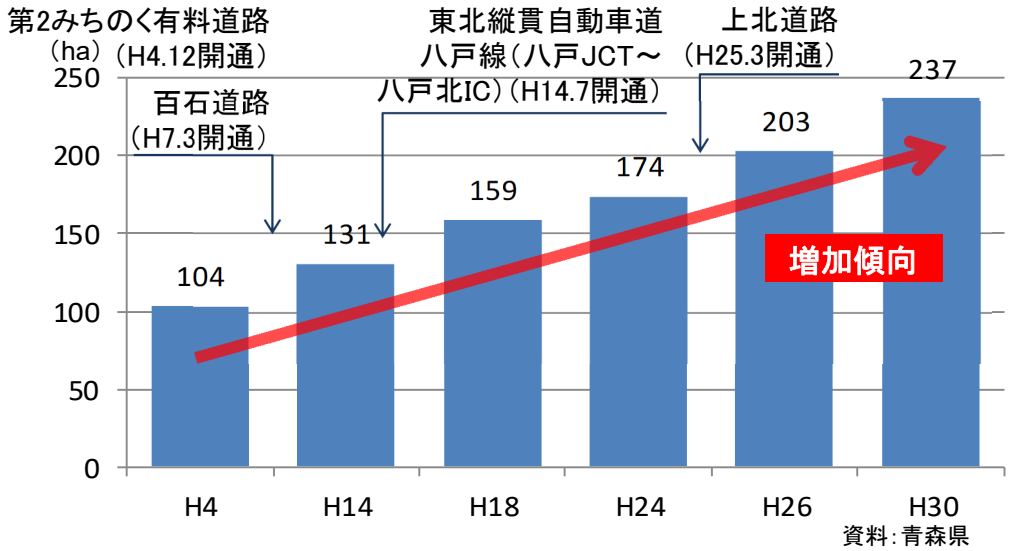
［上北（かみきた）自動車道］　道路整備の延伸により、地域産業の生産性が向上

◆三八上北地域はこれまで高速道路延伸により工業団地の分譲面積が増加傾向。更にH27年には国内第1位の木材加工工場(年間生産量：約6万m3、直接雇用100名)が新設され、H31年4月には新工場が増設予定(約12万m3に増産)。
◆工場新設による直接雇用が地域の高卒求人数増加に寄与。新工場増設により、更なる地域雇用を創出。
◆上北自動車道延伸により、下北・津軽方面からの原木搬入から製品加工までの更なる効率化と生産性向上に大きく貢献。



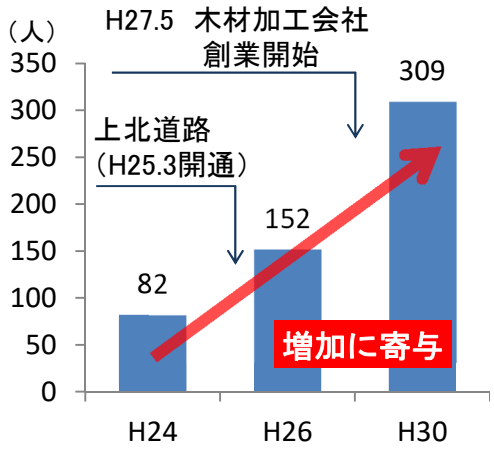
▲　原木の搬入とLVLの出荷の流れ
資料：青森県森林組合連合会ヒアリング結果

【三八上北地域の工業団地の分譲済み面積の推移】



資料：青森県

【六戸町周辺地域の高卒求人数】



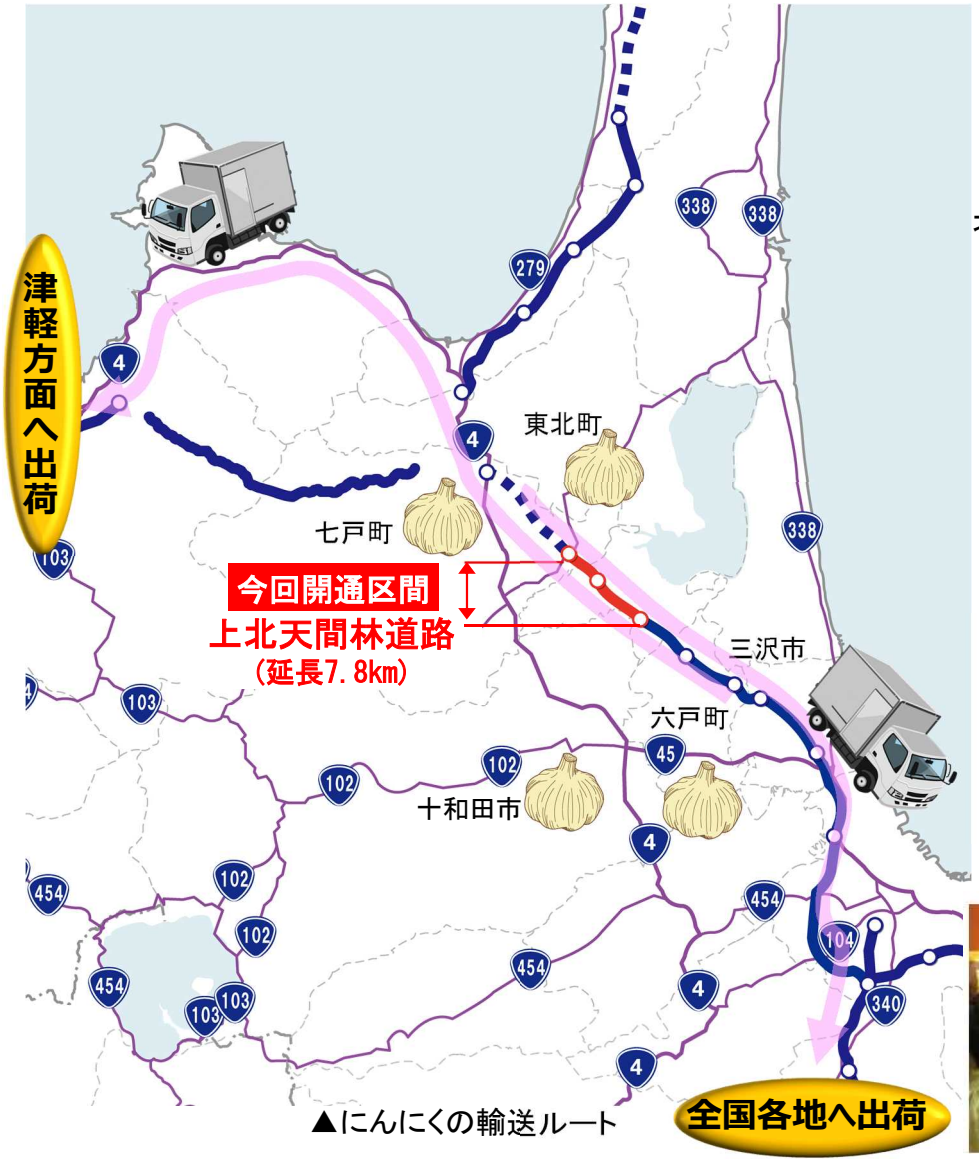
資料：青森労働局

【木材加工会社の声】
○木材の入手し易さ、高速道路へのアクセス性の良さから当地に立地
○直接雇用は、六戸町周辺市町村の高校生を多く採用
○上北天間林道路の整備により、原木の搬入時間の短縮によるドライバーの疲労軽減と物流コスト縮減に期待

【六戸町の声】
○木材加工工場の新設と増設により、今後町民税(法人税)の増加に期待

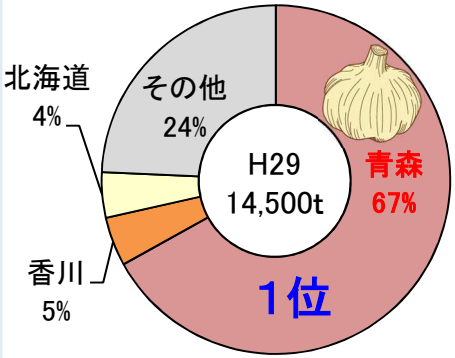
［上北（かみきた）自動車道］　青森県が誇る日本一の野菜の物流効率化を支援

◆青森県はにんにくの生産量が全国１位、主な産地である上北地域で収穫されたにんにくは 全国各地や津軽方面へ出荷
◆近年は黒にんにく等の加工商品の市場拡大により、上北地域で収穫されるにんにくの需要が高まり、販売額が増加傾向
◆上北自動車道延伸により、運搬時間が短縮し、物流効率化やドライバーの疲労軽減に期待



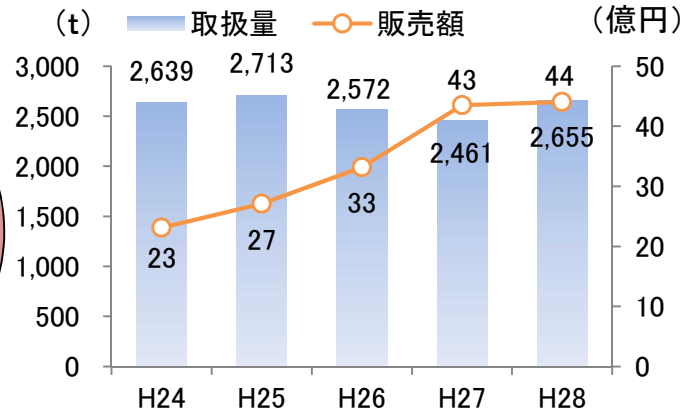
▲にんにくの輸送ルート

【にんにくの全国シェア】



資料：作物統計調査

【沿線地域におけるにんにくの取扱量・販売額の推移】



資料：沿線地域のJA（全農青森）


▲加工商品「黒にんにく」


▲海外の商談会の様子

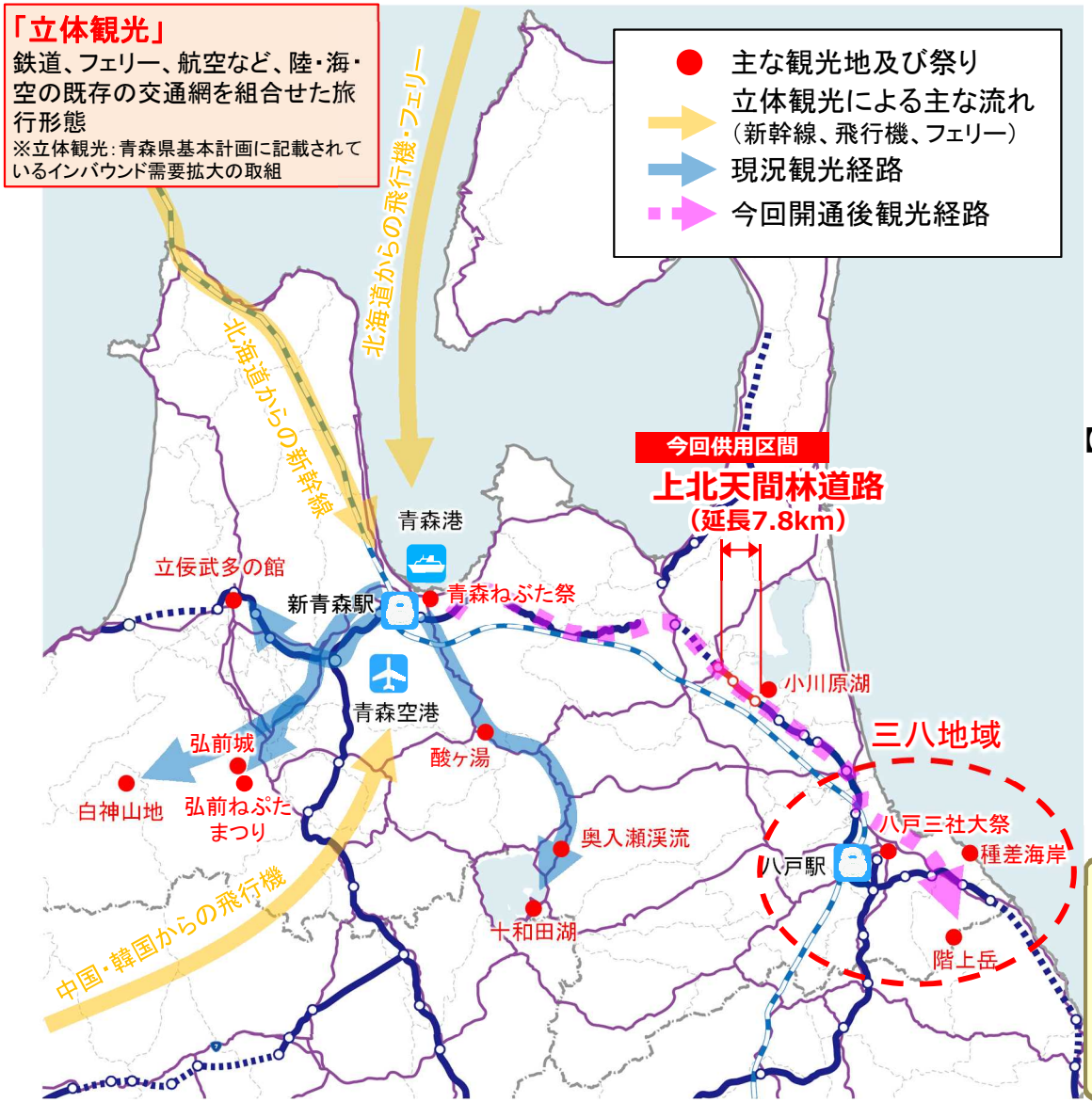
【JA関係者の声】
○集荷されたにんにくは津軽方面や全国各地に出荷
○近年は黒にんにくの市場拡大、食の安全のため国産にんにくの需要が高まり、国産にんにくの単価が上昇。
○上北天間林道路の開通により、輸送時間の短縮、物流効率化、ドライバーの疲労軽減に期待

【青果物加工企業の声】
○上北地域にある自社の畑から会社まで にんにくを毎日輸送
○会社で加工・袋詰めして関東や関西、海外へ輸送しており、加工から出荷までの時間を考えると輸送時間はできるだけ短縮したい
○上北天間林道路が開通すれば野菜の輸送時間短縮や効率化が図られると期待

［上北（かみきた）自動車道］　インバウンドの立体観光拡大を支援

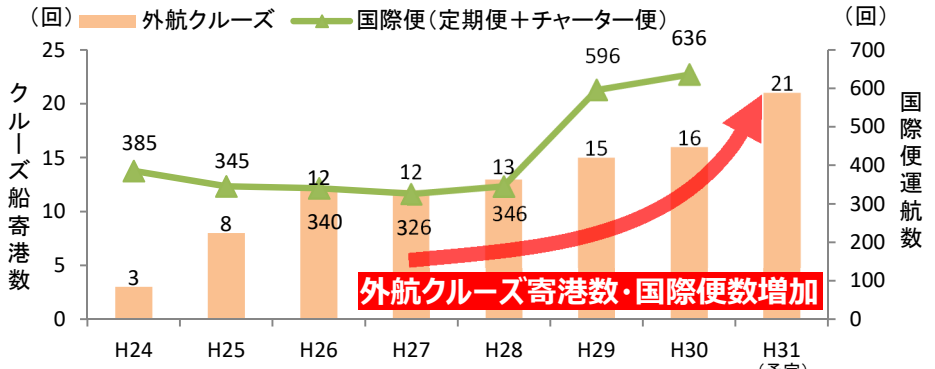
◆鉄道、フェリー、航空などを組み合わせた「立体観光」の推進により、クルーズ船寄港数や青森空港の国際便数、外国人宿泊者数（東北1位）が増加。
◆しかし、県都青森市からの道路ネットワークが未整備である三八地域は時間距離が長く、外国人入込客数の伸び率が小さい。
◆上北自動車道延伸により移動時間が短縮し、青森県が推進する立体観光を支援する道路ネットワークが形成。

「立体観光」
鉄道、フェリー、航空など、陸・海・空の既存の交通網を組合せた旅行形態
※立体観光：青森県基本計画に記載されているインバウンド需要拡大の取組



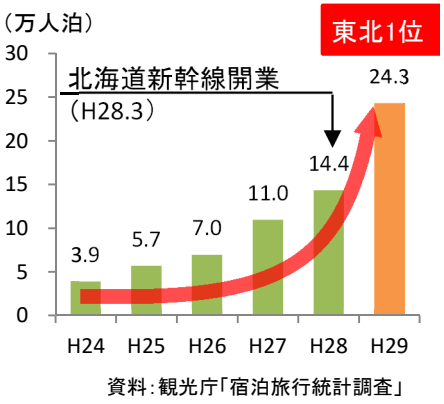
▲周遊観光ルート

【青森港クルーズ船寄港数と青森空港国際便数の推移】



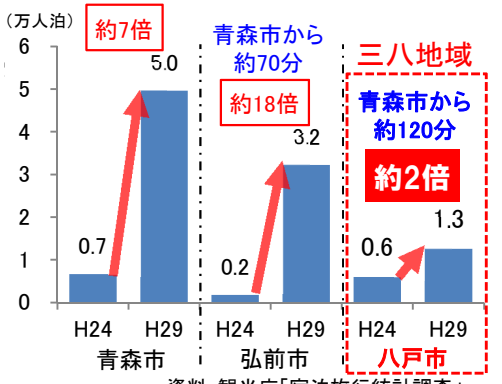
資料：〔クルーズ船〕東北地方整備局港湾空港部
：〔国際便〕青森空港管理事務所

【青森県延べ外国人宿泊者数の推移】



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

【市別延べ外国人宿泊者数の変化】



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

【バス事業者からの期待の声】
○青森市⇔八戸市間は現状で2時間程度かかることから、ツアーが設定されにくい
○道路整備により、時間が短縮された場合、上北地域の観光地を経由して、三陸復興国立公園の種差海岸、階上岳などの観光地を組み込んだ新規ツアーが設定される可能性が高い